

# 水と緑と花の里

いんべ



千本ダム

## 水 水をたたえるダムを見てみらや

① 六部地蔵 - 100m → 忌部浄水場 - 1,000m → 千本ダム - 300m → 日野天神社 - 2,000m → 石野宮神社 - 100m → 城山

コース ② 大谷ダム - 200m → 大峰登山供養塔 - 2,300m → 久多美神社 - 500m → 黒目山

① 六部地蔵



② 忌部浄水場



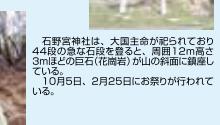
③ 千本ダム



④ 日野天神社



⑤ 石野宮神社

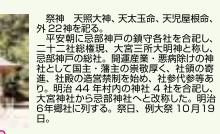


## 緑 先人たちのつくり上げた信仰の極みを拝見させてもららよ

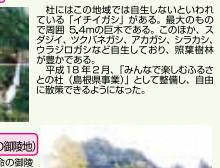
① 忌部神社 - 50m → 忌部神社の杜 - 100m → 玉の森 (柳明玉命の御陵地) - 300m → 客古墳 - 850m → 金屋子神社

コース ② 観音寺 - 100m → 若宮神社 - 500m → 馬頭観音 - 400m → 大日如来 (延命地蔵)

⑪ 忌部神社



⑫ 忌部神社の杜



⑬ 玉の森 (柳明玉命の御陵地)



⑭ 客古墳



⑮ 金屋子神社



当社は、鏡作大神とも称し、社殿は3尺四方の  
御殿主。

毎年1月の初午の日(最近は毎日)、金屋子神社は、鏡作主とすとたなびきが御祭の神事とし  
ておこなわれる。忌部には金屋子神社を祀る集落が多い。  
御殿主は、御殿主(御殿主御前)と御殿主(御殿主御前)の二種類あるが、御殿主(御殿主御前)は、  
御殿主(御殿主御前)よりも多くて祀られている。

花

## 生き物・植物の自然再生へ歩みよらや

① 四季桜・地蔵堂 - 1,300m → かやぶきの家 - 200m → 熊山三寶大荒神 (大川端三寶大荒神まで 1,500m)

コース ② 大川端三寶大荒神 - 100m → 慈恩寺 - 300m → ピオトーブ

⑩ 四季桜



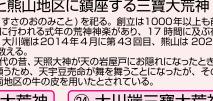
⑪ 地蔵堂



⑫ かやぶきの家



⑬ 熊山三寶大荒神



⑭ 大川端三寶大荒神

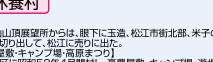


## 空 忌部より…絶景でございます

① 忌部自然休養村 (管理センター・豪農屋敷 - 600m - 南駐車場 - 600m - 池沢 - 1,850m - 展望台 - 650m - 管理センター)

コース ② 空山神社 (管理センターから 600m)

⑮ 忌部自然休養村



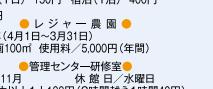
⑯ 駐車場



⑰ 客古墳



⑱ 駐車場



⑲ 金屋子神社



⑳ 駐車場

㉓ 慈恩寺

慈生山慈恩寺は、薬生宗妙心寺派の釋寺である。古くは雲霧院に記されている。本堂は昭和 60 年に改修されて、播土出生の文化建築家、持田豊典の設計による複数の安置室の堂宇と庭園を有する。別名「慈恩院」といわれる。境内には、地蔵堂、天王社、秋葉山がある。毎年の春の開山式、天香祭の参拜は多くの信者で賑わう。境内に広がる植え込み庭園は、もひじや船釣約 100 年近い樫垂れ松、参道のドウダンツツジ・サキツツジ・ミツバツツジなど、実木林である。

㉔ 黒目山



㉕ ピオトーブ

被された貴重な生物生息空間「自然と融合したピオトーブづくり」を理念として、休耕田を利用して、有利による様々な活動が行われている。ピオトーブには、メタカをはじめ様々な生き物が生息している。また、一粒の種から育てて古代バスク野生年々の生息域と数を増やしている。近くには座敷養蚕会が明治の頃よりから、後進に受け継がれてきた。



## アクセス

- ◆山陰道（松江道路）  
松江西降口  
南へ5km 車で7分(忌部公民館まで)
- ◆JR松江駅より  
路線バス（一畑バス）
- ◆JR乃木駅より  
忌部コミュニティバス

【編集・発行】  
忌部歴史研究会  
まち歩きマップ編集委員会  
【お問い合わせ】  
松江市忌部公民館  
〒690-0036  
松江市東忌部町899  
☎0852-33-2010  
〔初 版 平成25年12月 発行〕  
〔改定版 令和3年 6月 発行〕

## 左 水源

島根の名水百選に選ばれています。昔から良質な「左水」という湧水。松江市上水道を支えている千本大手の湧水であり、また農業用水としても利用されています。日本の湧水百選にも選ばれています。島根県外水道・水質を守るために、政府にて保護されています。

## スキー場跡

昭和10年から昭和25年の間に、スキー場として大川端地区の糸川家により開発され、一時期は臨時バスが運行された経営状況だった。



## 空山神社

大山頂山神社。同町大字地区にあつた七次社社が忌部神社に合祀(明治44年)され、焼かれた社殿を祀られたもの。権現さんと謂われて、昔から親しまれていました。



## 忌部花街道

始まりは昭和53年（実行は昭和56年）。57年の島根県の花づくり運動に取りかかりを経て現在18箇所（小学校1校舎）の花壇があり、春はパンジー、夏から秋にはサルビア、マリーゴールド、アーチカル、タケシマアヤメなど、秋はボタンを中心とした花々が、四季を通じて道行人の目を楽しませています。

花づくりは、地区の寿会あるいは高齢者の方々、地区自治会の方々、個人でやってくださる方と様々であり、花の種類もそれぞれ好みで育てています。

花街道の場所は裏面参照

